

最近の雇用情勢について

(令和3年8月)

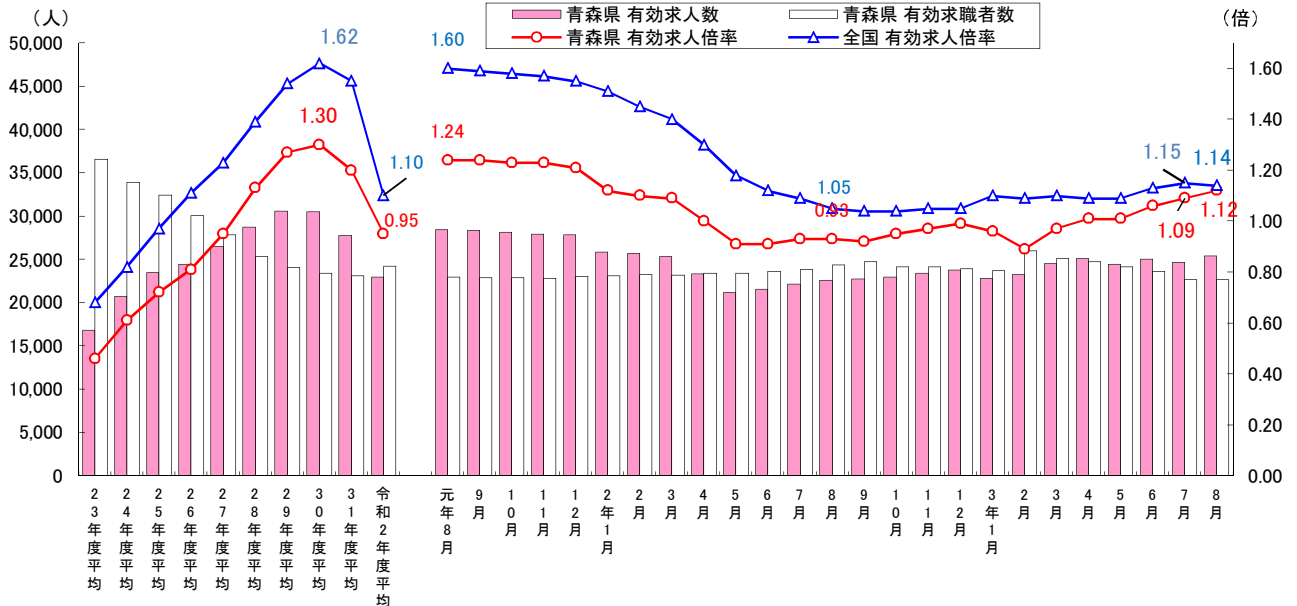
青森労働局

I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

職業安定部

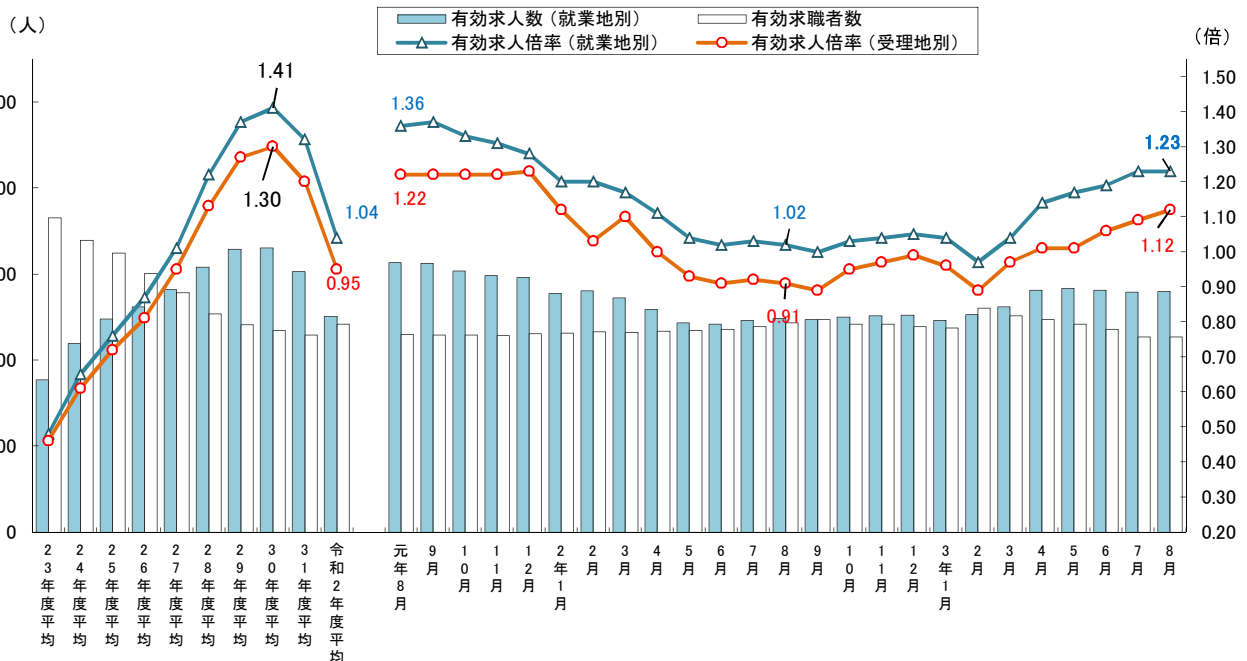
8月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数（季節調整値）は前月に比べ3.0%増加し25,396人、有効求職者数（同）は0.04%減少し22,664人で、有効求人倍率（同）は1.12倍となり、前月を0.03ポイント上回った。就業地別の有効求人倍率（季節調整値）は1.23倍で前月と同水準で、受理地別の倍率を0.11ポイント上回った。

受理地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

就業地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）

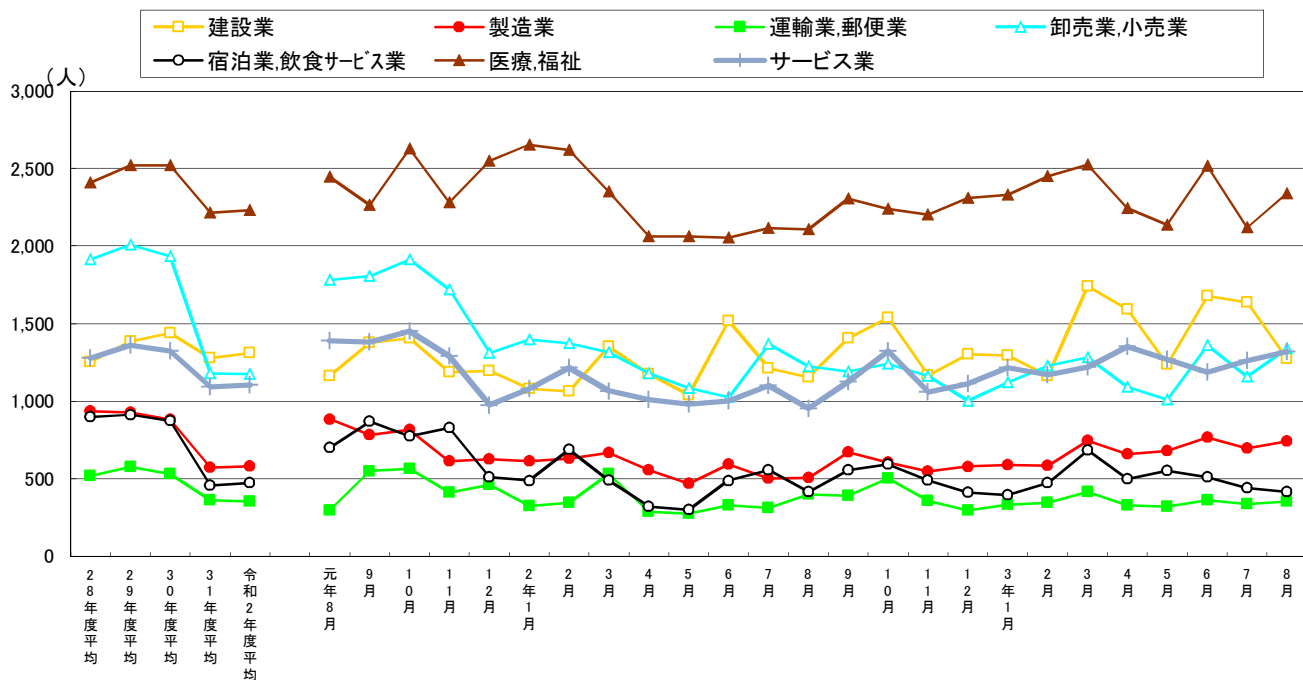


全国のハローワークで受理した求人、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和2年12月以前の数値は、令和3年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

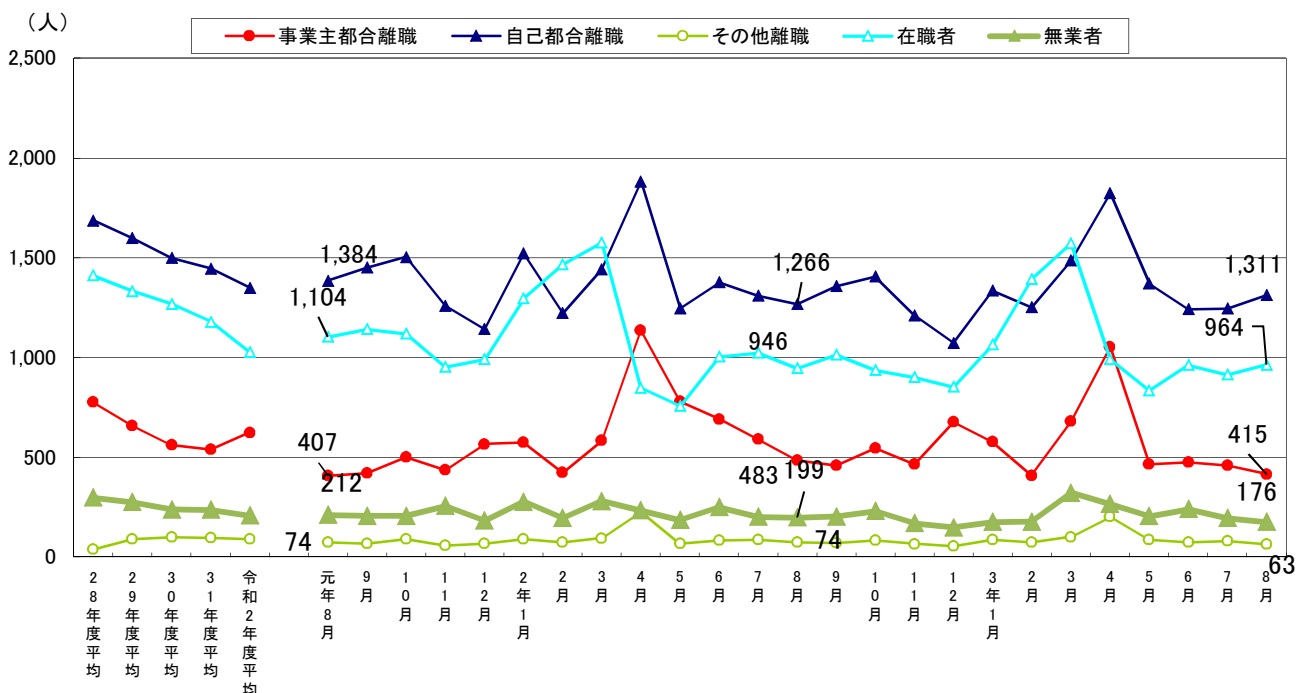
8月の新規求人数(原数値)は前年同月比11.5%(922人)増加の8,933人。
 主要な産業の新規求人数(原数値)をみると、前年同月と比較して建設業、製造業、卸売業、小売業、医療、福祉、サービス業で増加し、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業で減少した。
 製造業では、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、はん用・生産用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業等で増加し、輸送用機械器具製造業等で減少した。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農林漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業,保険業」「不動産,物品賃貸業」「学術研究,専門・技術サービス業」「生活関連サービス業,娯楽業」「教育,学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

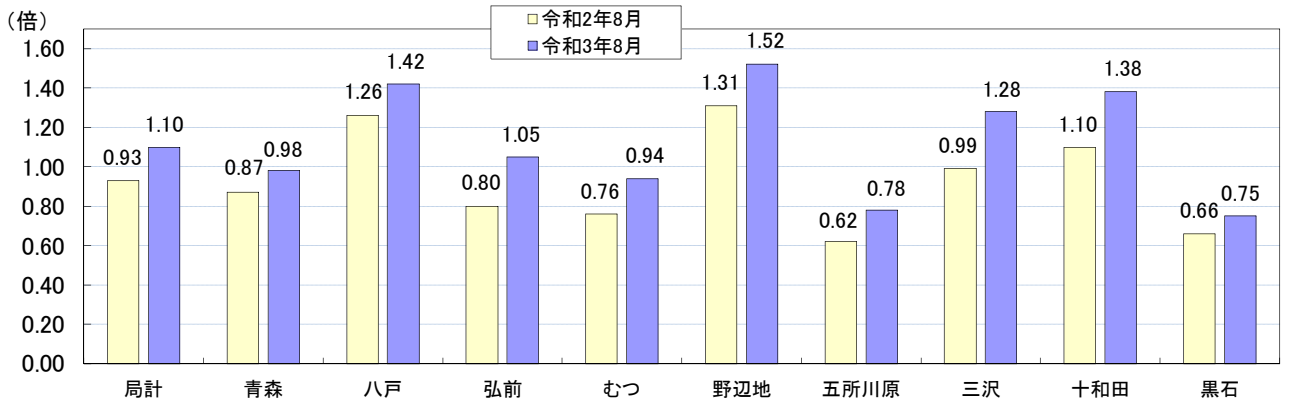
III 新規求職の状況(パートを除く常用)

8月の新規求職者数(パートを除く常用・原数値)は、前年同月比1.3%(39人)減少の2,929人。
 在職区分別に前年同月と比較すると、在職者は1.9%(18人)増加、離職者は1.9%(34人)減少、無業者は11.6%(23人)減少した。
 離職理由別では、事業主都合離職は前年同月比14.1%(68人)減少し、自己都合離職は同3.6%(45人)増加した。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

8月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.10倍となり、前年同月より0.17ポイント上昇した。各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



R3.8	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	22,417	5,532	4,760	4,569	1,158	776	2,117	1,197	908	1,400
有効求人数	24,736	5,432	6,752	4,809	1,083	1,178	1,649	1,537	1,253	1,043

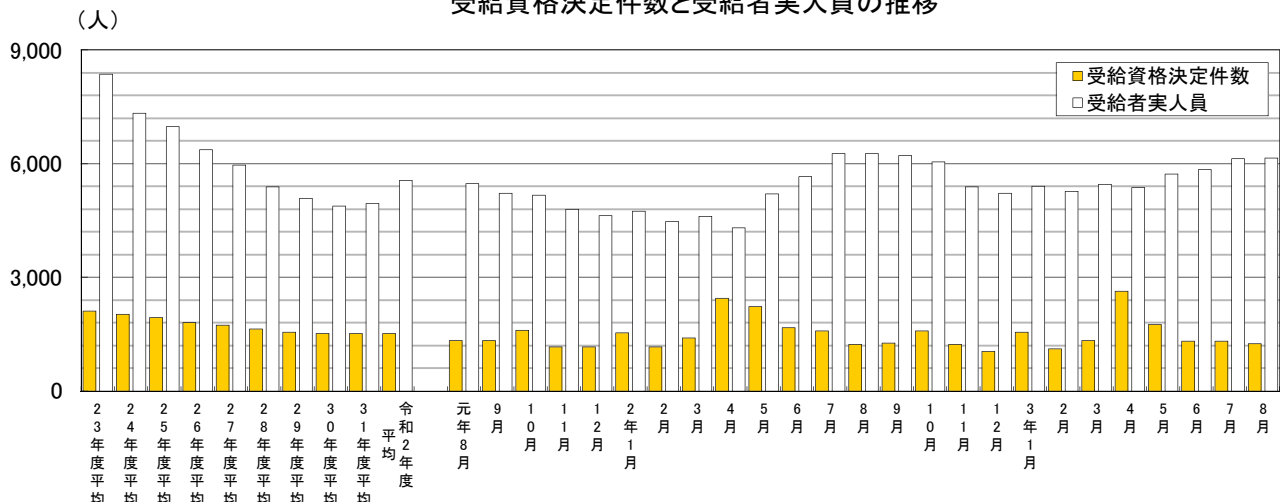
(単位:人)

V 雇用保険の状況

8月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比1.7%(108人)減少、前月比では0.4%(22人)増加の6,154人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比0.7%(9件)増加、前月よりも5.2%(68件)減少し1,244件となった。※受給資格決定件数は、速報値であり修正する可能性もあり得ること。

資格喪失者(高齢者、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比23.5%(36人)減少、前月比46.6%(102人)減少し117人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



(人)

事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

